

亘理町の結果概要について

■調査の概要

1 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日 平成31年4月18日(木)

3 調査対象学年 小学校第6学年(285名), 中学校第3学年(281名)

4 調査事項

- (1)教科に関する調査 小学校6年生:国語, 算数 中学校3年生:国語, 数学, 英語
- (2)質問紙調査(児童生徒:学習意欲, 学習・生活習慣, 規範意識, 自己有用感等)
(学 校 :授業改善, 学習指導, 学校運営, 小・中連携等)

■教科に関する調査結果の概要

- 平均正答率は、小学校国語、算数においては、いずれも全国平均を3～5ポイント程度下回っています。中学校国語においては全国平均とほぼ同等、数学、英語においては全国平均を5ポイント以上下回っています。昨年度と比べると、中学校国語で改善傾向が見られます。
- 小・中学校とも、無解答率が全国平均よりも高い問題が複数見られます。求め方の説明や理由等を『書くこと』への指導改善・工夫が、引き続き必要と考えております。
- 各教科とも正答率が極端に低い、または全国とのかい離が大きい問題が複数見られます。早急な指導改善と補充、さらには家庭学習の充実等により、当該学年の学習内容の確実な定着を図ってまいります。

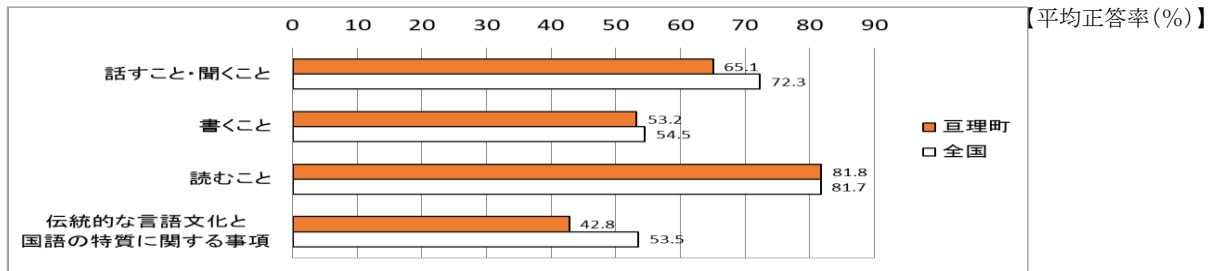
平成31年度の平均正答率(全国・宮城県・亘理町)

対 象	教 科	全 国	宮 城 県	亘 理 町	全 国 比
小学校	国 語	63.8	62	58	-5.8
	算 数	66.6	65	62	-4.6
中学校	国 語	72.8	74	72	-0.8
	数 学	59.8	58	53	-6.8
	英 語	56.0	53	51	-5.0

【小学校 国語】

■領域別の到達状況

(◎良好:90%以上 ○概ね良好:80~90%未満 ◇基準に到達:70~80%未満 ▽十分とはいえず:60~70%未満 ▼不十分:60%未満)



【話すこと・聞くこと】

▼: 目的に応じて、質問を工夫すること

▼: 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること

【書くこと】

▽: 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えること

▼: 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと

【読むこと】

○: 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと

○: 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

▼: 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

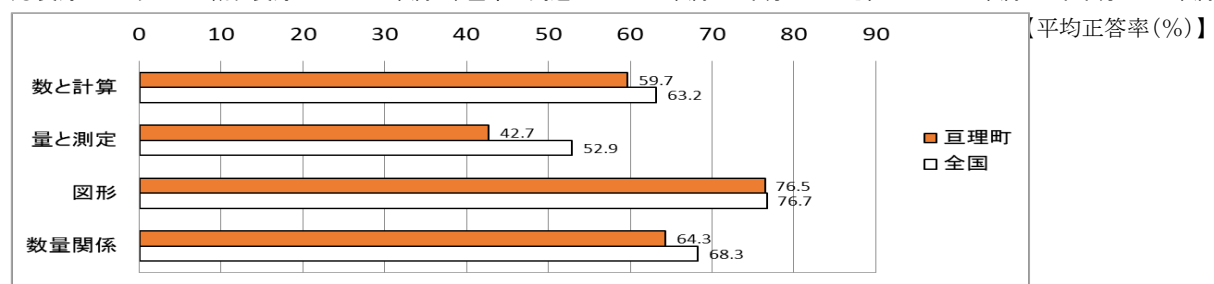
▼: 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと

▽: ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること

【小学校 算数】

■領域別の到達状況

(◎良好:90%以上 ○概ね良好:80~90%未満 ◇基準に到達:70~80%未満 ▽十分とはいえず:60~70%未満 ▼不十分:60%未満)



【数と計算】

○: 示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用すること

▼: 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること

【量と測定】

▼: 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること

【図形】

○: 台形について理解していること

▽: 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成すること

【数量関係】

○: 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること

▽: 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成すること

【数と計算/数量関係】

▽: 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること

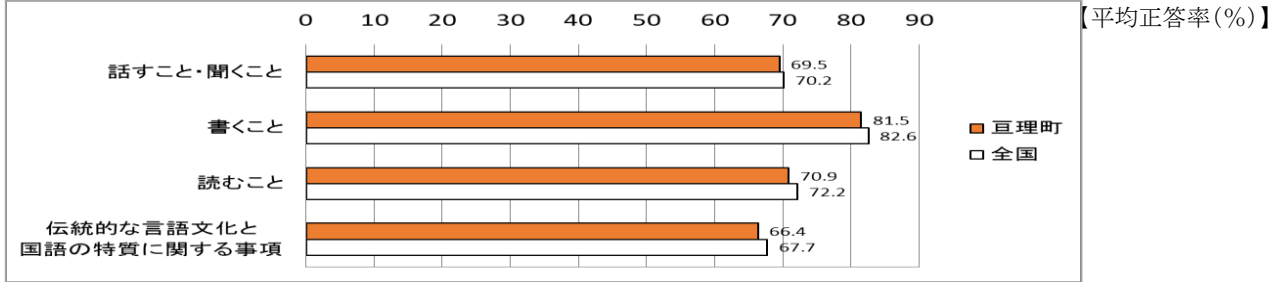
【量と測定/数量関係】

▼: 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること

【中学校 国語】

■領域別の到達状況

(◎良好:90%以上 ○概ね良好:80~90%未満 ◇基準に到達:70~80%未満 ▽十分とはいえず:60~70%未満 ▼不十分:60%未満)



【話すこと・聞くこと】

○:話し合いの話題や方向を捉えること

【書くこと】

◇:伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと

【読むこと】

◎:文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと

▼:文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

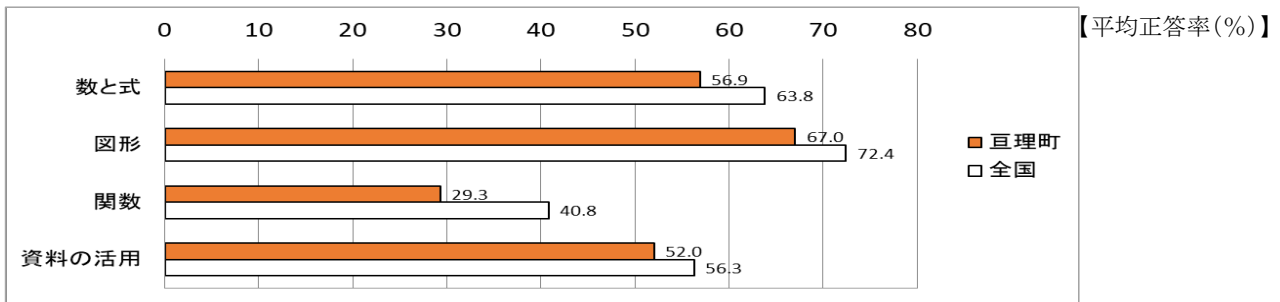
◇:語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解すること

▼:封筒の書き方を理解して書くこと

【中学校 数学】

■領域別の到達状況

(◎良好:90%以上 ○概ね良好:80~90%未満 ◇基準に到達:70~80%未満 ▽十分とはいえず:60~70%未満 ▼不十分:60%未満)



【数と式】

▽:簡単な連立二元一次方程式を解くこと

▼:数の集合と四則計算の可能性について理解していること

▼:与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えること

【図形】

◇:平行移動の意味を理解していること

▽:証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解していること

▼:結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明すること

【関数】

▼:反比例の表から、 x と y の関係を式で表すこと

▼:グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈すること

▼:事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

【資料の活用】

▽:簡単な場合について、確率を求めること

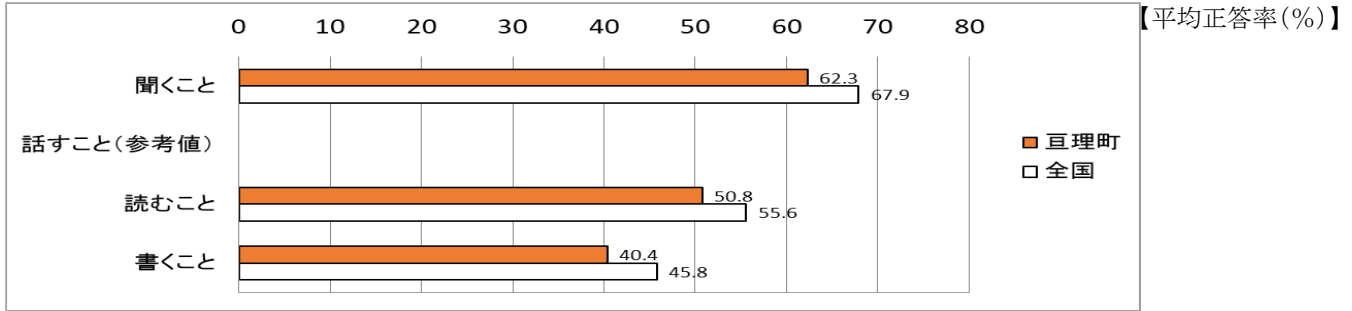
▼:資料を整理した表から最頻値を読み取ること

▼:資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

【中学校 英語】

■領域別の到達状況

(◎良好:90%以上 ○概ね良好:80~90%未満 ◇基準に到達:70~80%未満 ▽十分とはいえず:60~70%未満 ▼不十分:60%未満)



【聞くこと】

◎:語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ること

◇:教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ること

▼:聞いて把握した内容について、適切に応じること

【読むこと】

◇:日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること

▼:まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解すること

▼:書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえること

【書くこと】

◇:文の中で適切に接続詞を用いること

▽:一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くこと

▼:一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くこと

▼:与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと

▼:与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くこと

■質問紙調査結果の概要（※「児童生徒の回答」の一部抜粋）

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに県平均を下っています。
 ○「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について肯定的な回答をした割合は、県平均と同等で、小・中学校ともに95%を超えています。
 ○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の項目について肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに県平均を下回っています。
 ○平日の家庭学習の時間（塾・家庭教師等含む）について、小学校で1時間以上学習している割合は県平均を上回っていますが、中学校で1時間以上学習している割合は県平均を下回っています。また、平日に30分以上読書をしている割合は、小学校で県平均を大きく下回っています。
 ○「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか」の項目について肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに県平均を下回っています。

